



「普段サッカーに触れる機会の少ない子どもたちに、気軽にサッカーを楽しめる機会を提供し、サッカーを通して体を動かす楽しさや仲間と関わる喜びを感じてもらうことで、『いつでも、どこでも、誰もが気軽にサッカーを楽しめる』環境や文化を広げていくこと」を目的として開催を進めている「2026年度 HKFA小規模サッカーフェスティバル」。10月10日（土）に、「HKFAキッズサッカーフェスティバルIN岩見沢」として、岩見沢市立岩見沢小学校グラウンドで開催をしました。2年生11名、1年生8名の岩見沢市内から集まってくれたサッカーキッズ（2年生のうち1名は、札幌市から参加してくれました。）が、秋晴れの空のもと、汗びっしょりになって体を動かしてくれました。



ウォーミングアップ



ボールタッチ&シュートトレーニング

ウォーミングアップでは、ボールをもって簡単な動きにチャレンジしてもらったり、鬼遊びをしたりしながら、集まった参加者と一緒に楽しくフェスティバルに臨めるように、体だけでなく心も温めてもらいました。

用意したラダーやハードルを各自で活用の仕方を考えて、トレーニングに取り組んでもらいました。グラウンドにある雲梯や鉄棒を使ってトレーニングをする子も見られ、工夫しながらいろいろな動きや感覚づくりを行っていました。



用具を使ったトレーニング



体と心を十分に温めた後は、サッカーの基本となる、ボールタッチやドリブル、シュートのトレーニングに挑戦してもらいました。シュートタイムでは、ドリブルシュートや的当てなど3つの場所を用意して、挑戦したい場所を選択しながら楽しんでもらいました。

フェスの締めくくりは、ゲームタイムです。ハーフタイムでは、チームの仲間と後半に向けての動きを話し合うことで、前半ほどみんながボールに集まらずにゲームを行うことができるようになったのが素晴らしいかったです。



ゲームタイム



高まった心拍数を下げるためと、疲れを残さないようにするためにクールダウンを行うことの大切さを伝え、日頃から運動の終わり方も丁寧に行うことを意識してもらいたいと思っています。



クールダウン

帰りに「楽しかった。」と言ってくれた子も多く、スタッフとしても、うれしかったです！！



みんなで記念撮影！

Special Thanks

今回の開催に際しまして御理解と御協力いただきました空知地区サッカー協会（宮本会長様、会場までお越しいただきありがとうございました。）、グラウンドの使用許可をくださいました岩見沢市教育委員会、そして、準備段階から多大なる御尽力を賜りました岩見沢市立岩見沢小学校：小山田 学 校長先生には、この場を借りて心より御礼を申し上げます。（公益財団法人 北海道サッカー協会 キッズ委員 佐賀 主昌）